

「委任通知書」でも受け付けします 税務証明の交付申請

委任通知書

代理人
住所 (代理人が
氏名 必ず
自署)

私は、上記の者を代理人と定め、次の権限を委任しましたので通知します。

1. 固定資産評価証明書 通
の交付を受けること。
2. (.....)

光町長 様
昭和 年 月 日
本 人
住所 (必ず
氏名 自署)

一月号で、税務についての証明を請求される方へ、お願いいたしました。本人が来られない場合の「委任状」を、「委任通知書」でも差支えないことといたしますが、これは本人と代理人との間で代理権の授受が前提となります。

この「委任通知書」による場合は、印紙が不要になり、四月からの取り扱いをいたします。

のでお知らせいたします。
「委任通知書」は、例えば別掲のようなものです。

なお、「委任状」でも差支えありませんが、この場合は印紙税法により、二〇〇円の印紙をはる必要があります。



踏切事故に

注意しよう

踏切事故は、発生しますと他の交通事故と比べ、重大事故につながります。

事故の主な原因には、一時不停止、警報機の無視、安全の確認など横断者側の不注意によっておきています。

そこで、尊い生命、幸せな家庭を守り、また、他人に迷惑をかけないよう次のルールを守りましょう。

一、踏切では、必ず一時停止し、安全を確認する。

二、しゃ断機が閉じようとしている時や警報を発している踏切内には入らない。

三、踏切の先が混雑している時は、前に「アキ」のできるまで待つ。

四、狭い踏切は落輪、長い踏切は、しゃ断機に閉じ込められる恐れがあるので、十分注意する。

五、踏切上でエンスト、落輪した場合は、あわてず非常ボタンや信号炎管などで列車を止める。

ご存じでしょうか たばこ消費税

八円十五銭一厘、この数値は一本当たりのたばこ消費税の課税標準額です。

この標準額に町で販売された本数を掛け合わせ、さらに百分の十八・一を掛けた数字が専売公社から町に納付される「たばこ消費税」となります。

昭和五十六年度の「たばこ消費税」は三千二百万円と見込んでいます。

ところが下図をご覧ください。

近隣市町と比べ、当町での成人一人当たりのたばこ消費税額は、八百円から千四百円の差があり一段と低くなっています。

これは、他市町でたばこが買われていることが原因と見受けられます。

たばこ消費税は、町にとって大きな財源となります。

外出されるとき、たばこは町内の販売店でお求めください。

